

安曇野 市議会だより

第14号

2009年5月13日

■発行 安曇野市議会
 ■編集 議会広報特別委員会
 〒399-8211
 長野県安曇野市堀金烏川2750-1
 TEL 0263-72-3106 FAX 0263-71-2150
<http://www.city.azumino.nagano.jp>
 E-mail:gikai@city.azumino.nagano.jp



入園おめでとう（堀金保育園）

2009.4.1 現在	
人口	99,355人
男	48,168人
女	51,187人
世帯	36,459世帯

主な内容	contents
■ 3月定例会 市長施政方針	2
■ 一般会計予算等に対する討論	3
■ 平成20年度一般会計補正予算の概要	4
■ 議案等の審議結果	5
■ ピックアップ常任委員会	6
■ 3月定例会一般質問	10
■ 市民の声・視察受入れ報告	20



安曇野市長
平林伊三郎

『自治体の責務である』

計画行政の遂行

安曇野市は、県下19番目の市として誕生した自治体であります。

「五つの流れを一つに」を目標として、合併4年目に入っているわけであります。

新市誕生以来ゆくりとした流れではあっても、着実にその歩みを進め、さまざまな課題を克服し、新市の基礎を完成させる段階に入っていると、考えているところであります。

今年「丑」年であり、今年「牛」の歩みも千里と言います。

安曇野市においても、牛の歩みの如く、一歩一歩着実に進み続けねばなりません。

この先、本庁舎建設、土地利用など、避けて通れない重要課題が目の前にあるわけ

ありますが、市民の皆様にとつて、安曇野市にとって、輝きある将来への大切な布石となるものであります。

これらのことについては特に、近視眼的な見方、考え方に捕らわれず、将来予測を的確に推し量りつつ、広い視野、高い視点で論じ合いながら進めてまいりたいと考えておるところであります。

平成21年度予算は、安曇野市発足以来の取り組みを尊重し、各種計画の実現を目指し、「自治体の責務である計画行政の遂行」を基本方針として編成いたしました。

四つの重点課題を掲げ、市民の皆様からのご期待にお応えできますよう取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

平成21年度 安曇野市 一般会計予算

予算額 **344億円** (対前年度 8億8,000万円増、2.6%増)

一般会計予算等に対する討論

平成21年度一般会計予算

賛成討論

344億円の当初予算が、市民の暮らしが今どうなっているか、困っている人に救いの手を差し伸べるために使われているか、疑問だ。

①本庁舎等建設基本構想策定に約319万円計上は、市民の意見・要望を聞き、その内容を反映させるべきだ。また、基金を積み立ててから、計画的に行うべきだ。

②人権啓発の名の同和行政、同和教育は、終結こそ時代の流れである。

③豊科交流学習センターの建設が着工される状況であるが、住民の合意が得られる議論を尽くしていない。

④学校の需用費に抑制効果が働いているように見受けられる。

⑤保育園の給食調理業務委託は、食の安全、職員の確保等、公の責任が曖昧である。

⑥市の財政に大きな影響のある、安曇野菜園の施設使用料が、歳入に計上されていない。

賛成討論

大不況の中、生活支援、中小企業対策等経済対策に配慮され、健全財政を維持しようとする努力されており、賛同できる。

⑦三郷堆肥センターの施設設備修繕に500万円計上されているが、浪費ではないか。

反対討論

国民健康保険は、社会保障として位置づけられ、支払い能力に応じた保険料で、いつでも、誰でも医療が受けられる。被保険者一人当りの均等割額や、応益割合比率が低所得者層に負担が増しており、今度の保険料値上げは低所得者に対して大変な負担増となる。国保加入世帯の実態は、他の医療保険団体と比べて、負担能力が低く、かつ医療費が多くなっている。

⑧国民健康保険特別会計に2800万円余繰り入れされたが、基金を取り崩してでも、国保税の引き上げを抑えるべきだ。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例。国民健康保険特別会計予算

賛成討論

国民健康保険は、社会保障として位置づけられ、支払い能力に応じた保険料で、いつでも、誰でも医療が受けられる。被保険者一人当りの均等割額や、応益割合比率が低所得者層に負担が増しており、今度の保険料値上げは低所得者に対して大変な負担増となる。国保加入世帯の実態は、他の医療保険団体と比べて、負担能力が低く、かつ医療費が多くなっている。

⑨高額医療等により、医療給付が増大している。

① 健全な自治体経営の実現に向けた取り組み

【目標を具体化する事業】

- ◆本庁舎等建設基本構想策定……319万4千円
- ◆人事評価制度推進……347万円
- ◆公会計制度改革推進……4万5千円
- ◆未利用地処分推進……233万9千円
- ◆一般競争入札拡大……500万円
- ◆行政評価システム構築による行財政効率化推進……130万円
- ◆第2次行財政改革大綱外策定……36万4千円
- ◆宿泊施設あり方検討……53万5千円
- ◆保育園給食調理業務委託……7,989万4千円

② 学び・交流する環境整備による人を育む取り組み

【目標を具体化する事業】

- ◆有明の森保育園建設……1億2,566万9千円
- ◆明科北保育園建設……3,833万3千円
- ◆豊科南部保育園建設……1億4,434万円
- ◆小学校施設耐震補強外……10億6,930万4千円
- ◆生涯学習推進計画PR……107万円
- ◆豊科、穂高交流学習センター建設……7億3,848万9千円

③ 市民と行政が進める協働のまちづくりを実現する取り組み

【目標を具体化する事業】

- ◆協働のまちづくり推進……144万4千円
- ◆安曇野ブランド推進会議プロジェクト推進……995万円
- ◆自主防災組織強化……500万円
- ◆学校支援地域本部事業推進……550万2千円
- ◆地域運動会運営交付金創設……100万円

④ 経済対策

【目標を具体化する事業】

- ◆高齢者等世帯等火災報知機購入等助成……1,526万円
- ◆国民健康保険税軽減対策……2,816万9千円
- ◆被生活保護者就労支援……195万7千円
- ◆地域職業相談員設置……177万9千円
- ◆中小企業融資預託金外拡大……6億6,700万円

賛成討論

国保会計の安定を求め、国保会計運営審議会の答申を経て、なお現下の経済状況を踏まえ、一般会計から約2800万円を繰り入れた。税負担の公平性から繰り入れは限度がある。医療制度改革により、75歳以上の国保加入者が後期高齢者医療制度に移行、収入が減少、反面、高額医療等で、医療給付金が増加している。基金も1カ月相対分を確保できるか厳しい状況にあるので、値上げもやむを得ない。

反対討論

国の制度自体が問題である。保険料について、介護サービスが十分受けられない、施設が十分でないなど。値上げするならば、サービスの改善策や施策を示して提案すべきである。

賛成討論

今回の改正は、介護報酬2.8%引き上げに伴い「保険料率」の一部を改正するもので、低所得者への負担軽減を図り、応能負担したものである。

予算は、過去2回の改正により介護報酬が4.7%減額され、事業所の経営が悪化し職員給与減が現れ、介護現場の人材不足等改善することが主となっている。サービス整備をするにはやむを得なく、国の制度改正を待つしかないと思う。

議案等の審議結果

3月定例会は、議案等66件を審議しました。

平成21年安曇野市議会 3月定例会審議結果

市長提出議案

議案等番号	件名	結果
報告第1号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（自動車事故に関する事）	受理
報告第2号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（道路事故に関する事）	受理
議案第1号	安曇野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	安曇野市防災会議条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	安曇野市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	安曇野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	安曇野市重度心身障害者福祉金に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	安曇野市堀金保育園建設基金条例を廃止する条例	原案可決
議案第8号	安曇野市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	安曇野市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	安曇野市穂高交流学習センター条例	原案可決
議案第12号	安曇野市図書館条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	平成20年度安曇野市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第14号	平成20年度安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第15号	平成20年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第16号	平成20年度安曇野市老人保健特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第17号	平成20年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第18号	平成20年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第19号	平成20年度安曇野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第20号	平成20年度安曇野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第21号	平成20年度安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第22号	平成20年度安曇野市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第23号	平成21年度安曇野市一般会計予算	原案可決
議案第24号	平成21年度安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第25号	平成21年度安曇野市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第26号	平成21年度安曇野市老人保健特別会計予算	原案可決
議案第27号	平成21年度安曇野市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成21年度安曇野市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成21年度安曇野市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第30号	平成21年度安曇野市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	平成21年度安曇野市上川手山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成21年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第33号	平成21年度安曇野市有明山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第34号	平成21年度安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第35号	平成21年度安曇野市穂高山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第36号	平成21年度安曇野市産業団地造成事業特別会計予算	原案可決

議案第37号	平成21年度安曇野市水道事業会計予算	原案可決
議案第38号	平成21年度安曇野市営宿舎事業会計予算	原案可決
議案第39号	有明保育園整備事業建築主体・電気設備工事変更請負契約について	原案可決
議案第40号	有明分園保育園整備事業建築主体・電気設備工事変更請負契約について	原案可決
議案第41号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市ひめこぶしの家）	原案可決
議案第42号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市保養センター長峰荘）	原案可決
議案第43号	公の施設の指定管理者の指定について（御宝田水のふるさと公園）	原案可決
議案第44号	公の施設の指定管理者の指定について（緑山公園）	原案可決
議案第45号	市道の廃止について	原案可決
議案第46号	市道の認定について	原案可決
議案第47号	安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	安曇野市介護従事者処遇改善臨時特定基金条例	原案可決
議案第49号	平成20年度安曇野市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第50号	平成20年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第51号	穂高北小学校耐震補強・大規模改造事業建築主体工事変更請負契約について	原案可決
議案第52号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市三郷堆肥センター等）	原案可決

議員提出議案

議員提出第1号	介護保険料を所得比例中心に変更することを求める意見書	原案可決
議員提出第2号	介護保険制度の抜本的改善を求める意見書	原案可決
議員提出第3号	介護労働者の処遇改善を求める意見書	原案可決

請願

平成20年請願第11号	市民の暮らし優先の市政のために安曇野市新庁舎建設の見直しを求める請願書	継続審査
平成20年請願第12号	安曇野市有害図書類等の自動販売機等の規制に関する条例の早期制定について	審議未了

陳情

平成20年陳情第10号	社会保険料に人头割はふさわしくない 介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情	採 択
平成20年陳情第11号	介護保険制度の抜本的改善を求める陳情書	採 択
平成20年陳情第13号	介護労働者の処遇改善を求める陳情書	採 択
平成20年陳情第15号	学校給食に安心・安全な食材の使用を求める陳情書	採 択
平成20年陳情第17号	共済法制定を求める陳情書	審議未了
陳情第1号	増田建設産業(有)の一般廃棄物処分業許可申請に対し不許可を求める陳情書	採 択
陳情第2号	国民健康保険税値上げに反対する陳情書	不採 択

平成20年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)

補正予算額 ……△1億6,700万円

補正前の予算額 ……342億8,300万円

補正後の予算額 ……341億1,600万円

1 歳入の主な増額・減額項目

歳入科目	増(減)額	主な内容
個人市民税現年課税分	7,000万円	個人市民税納付状況による
個人市民税滞納繰越分	2,600万円	収納促進による納付状況による
固定資産税滞納繰越分	1,500万円	収納促進による納付状況による
市たばこ税現年課税分	△1,900万円	納付状況による
地域介護・福祉空間整備交付金	△4,000万円	事業延期による
学校施設整備事業補助金	△2,439万4千円	本年度事業費の縮小による
地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金	3,000万円	交付見込みによる
地域活性化・生活対策臨時交付金	4億3,180万4千円	交付見込みによる
地域振興整備基金繰入金	△2,084万6千円	地域活性化・生活対策事業（明科北保育園）としての実施による
地域福祉基金繰入金（明科地域）	△1億388万9千円	地域活性化・生活対策事業（明科就労センター）としての実施による
合併特例事業債（安曇野赤十字病院建設補助金）	△7,480万円	事業費の減額による
まちづくり交付金事業債（成相・新田地区、穂高駅周辺地区まちづくり交付金事業）	△4,120万円	穂高駅西公園整備の事業延期による

2 歳出の主な増額・減額項目

事業名	増(減)額	主な内容
社会福祉総務費	△2,265万2千円	原油価格高騰に係る灯油購入扶助事業の中止外による減額
介護保険対策費	△1,510万円	地域密着型サービス施設整備事業の延期による減額、及び介護給付費の増加による繰出金の増額
公立保育園整備費	3億743万7千円	地域活性化・生活対策事業による明科北保育園整備費の増額
保健衛生総務費	△7,874万9千円	安曇野赤十字病院建設費の入札結果に基づく事業費の減額
予防接種事業	1,103万7千円	インフルエンザ予防接種の増加外による増額
中小企業振興資金貸付事業	1,150万円	中小企業の融資拡大を見込んだ保証料の増額
都市公園整備事業	△5,600万円	穂高駅西公園整備の事業延期による減額
小学校施設整備事業	△7,960万1千円	穂高北小耐震補強等工事の進捗遅延による減額

平成20年度安曇野市一般会計補正予算(第5号)

補正予算額 ……16億2,900万円

補正前の予算額 ……341億1,600万円

補正後の予算額 ……357億4,500万円

1 歳入の主な増額・減額項目

歳入科目	増(減)額	主な内容
定額給付金補助金	15億7,917万円	交付見込みによる
子育て応援特別手当補助金	4,983万円	交付見込みによる

2 歳出の主な増額・減額項目

事業名	増(減)額	主な内容
定額給付金事業	15億7,917万円	定額給付金事業による増額
子育て応援特別手当	4,983万円	子育て応援特別手当による増額

環境経済委員会審査報告

2月19日報告分

議案第13号	平成20年度 安曇野市一般会計補正予算（第4号）（環境経済委員会所管事項）
議案第15号	平成20年度 安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第16号	平成20年度 安曇野市老人保健特別会計補正予算（第3号）
議案第17号	平成20年度 安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第21号	平成20年度 安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）
審査内容	（要望）早期に売却となるよう、努力されたい。
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

議案第4号	安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
審査結果	一部に、反対の意見があったが、採決を行った結果、賛成多数で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

議案第5号	安曇野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
議案第23号	平成21年度 安曇野市一般会計予算（環境経済委員会所管事項）
議案第26号	平成21年度 安曇野市老人保健特別会計予算
議案第27号	平成21年度 安曇野市後期高齢者医療特別会計予算
議案第31号	平成21年度 安曇野市上川手山林財産区特別会計予算
議案第32号	平成21年度 安曇野市北の沢山林財産区特別会計予算
議案第33号	平成21年度 安曇野市有明山林財産区特別会計予算
議案第34号	平成21年度 安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計予算
議案第35号	平成21年度 安曇野市穂高山林財産区特別会計予算
議案第36号	平成21年度 安曇野市産業団地造成事業特別会計予算
議案第38号	平成21年度 安曇野市営宿舍事業会計予算
議案第42号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市保養センター長峰荘）
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

3月19日報告分

議案第25号	平成21年度 安曇野市国民健康保険特別会計予算
審査結果	一部に、反対の意見があったが、採決を行った結果、賛成多数で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

議案第52号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市三郷堆肥センター等）
審査内容	（意見）営利目的だけでなく、畜産振興や地域の環境整備をよく考えるべきである。
審査結果	以上のような意見を踏まえ、採決を行った結果、全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

平成20年陳情第17号	共済法制定を求める陳情書
審査内容	（意見）・ 行政の役割というものがしっかりしないと判断できない。 ・ 他の市町村も国に制定を求める動きがなく、進展が見られない。
審査結果	以上のような意見で結論に至らず、本件については、「審査未了」となった。

陳情第1号	増田建設産業(有)の一般廃棄物処分業許可申請に対し不許可を求める陳情書
審査内容	（意見）・ 地域住民の不安は、被害が拡大することへの心配であり、これは当然といえるが、住民と業者が同じテーブルで話せるよう、市は両者の間に入る努力をすべきである。 ・ 現実的には産廃処理を行っており、一般廃棄物処分業の許可を取る真意がよく分からないが、粉じん処理等調査は継続して行うべきである。 ・ 行政の許認可に係る問題とは、一線を画すべきである。
審査結果	以上のような様々な意見を踏まえ、採決を行った結果、全員賛成で、「採択すべきもの」と、決定した。

陳情第2号	国民健康保険税値上げに反対する陳情書
審査内容	（賛成の意見）条例の一部改正の中でも意見を言ったが、行政の役割として考慮すべきである。特に、国に対して国の負担増を求めていくべきである。
審査結果	一部、以上のような賛成の意見があったが、採決を行った結果、賛成少数で、「不採択とすべきもの」と、決定した。

総務委員会審査報告

2月19日報告分

議案第13号	平成20年度 安曇野市一般会計補正予算（第4号）（総務委員会所管事項）
審査内容	（要望）収納課を新たに設置したので、収納率を上げるようにぜひ頑張ってもらいたい。
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第14号	平成20年度 安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

2月27日報告分

議案第49号	平成20年度 安曇野市一般会計補正予算（第5号）（総務委員会所管事項）
審査結果	賛成多数で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

3月19日報告分

議案第1号	安曇野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部を改正する条例
議案第2号	安曇野市防災会議条例の一部を改正する条例
議案第3号	安曇野市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例
議案第24号	平成21年度 安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

議案第23号	平成21年度 安曇野市一般会計予算（総務委員会所管事項）
審査内容	（反対の意見）本庁舎建設について、しっかりした方向性というものがまだ見えてこない中での予算の計上は、無理がある。 （賛成の意見）議会が本庁舎等建設審議会を設置することを議決しており、それに基づいて予想される内容を予算計上したものである。
審査結果	一部に、反対の意見があったが、採決を行った結果、賛成多数で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

平成20年請願第11号	市民の暮らし優先の市政のために安曇野市新庁舎建設の見直しを求める請願書
審査内容	・ 本庁舎等建設審議会の動きを見極める必要がある。も また、行財政改革を進める上で市民の意見を聞く必要 としたい。
審査結果	以上のような意見があり、引き続き審査を継続したいという意見について、語ったところ、賛成多数で、「継続審査とすべきもの」と、決定した。



桜満開の長峰山から北アルプスを望む

3月19日報告分

議案第47号	安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例
審査内容	(反対の意見) 介護保険料の第4段階の基準額は、現行より引き下げられて、平成21、22年度は改善されていると評価できる。しかし、平成23年度になると全ての段階で保険料が引き上げになることと、低所得者層の負担を減額していく考えはない。第6、第7段階の負担は大幅に引き上げられ、応能負担に改善は進んだが、まだ十分である。
審査結果	一部に、反対の意見があったが、採決を行った結果、賛成多数で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第51号	穂高北小学校耐震補強・大規模改造事業建築主体工事変更請負契約について
審査内容	(意見) 再度、変更契約することのないよう、今回のことを教訓として十分留意されたい。
審査結果	以上のような意見を踏まえ、採決を行った結果、全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
平成20年請願第12号	安曇野市有害図書類等の自動販売機等の規制に関する条例の早期制定について
審査内容	(意見) 願意は十分理解できる。条例ではっきり謳うのは大事であるが、合法だということですり抜けてしまうこともある。それを食い止めるのは、住民の粘り強い活動である。PTA、青少年健全育成審議会、区長会等と連携して、臨むことが必要だと考えるが、さらに研究する必要がある。
審査結果	以上のような意見で結論に至らず、本件については、「審査未了」と、なった。
平成20年陳情第10号	社会保険料に人头割はふさわしくない 介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情
平成20年陳情第11号	介護保険制度の抜本的改善を求める陳情書
平成20年陳情第13号	介護労働者の処遇改善を求める陳情書
審査結果	特に、反対という意見はなかったが、採決を行った結果、賛成多数で、「採択すべきもの」と、決定した。
平成20年陳情第15号	学校給食に安心・安全な食材の使用を求める陳情書
審査結果	陳情者の願意を酌み、全員賛成で、「採択すべきもの」と、決定した。

建設水道委員会審査報告

2月19日報告分

議案第13号	平成20年度 安曇野市一般会計補正予算（第4号）（建設水道委員会所管事項）
審査内容	(要望) 入札差金については、現在の不況の時期を乗り切れるよう、緊急経済対策として、入札差金で市内中小企業に工事等追加発注するなど、対応をとって欲しい。
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第19号	平成20年度 安曇野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
議案第20号	平成20年度 安曇野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
議案第22号	平成20年度 安曇野市水道事業会計補正予算（第3号）
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

3月19日報告分

議案第8号	安曇野市都市公園条例の一部を改正する条例
議案第9号	安曇野市水道事業給水条例の一部を改正する条例
議案第30号	平成21年度 安曇野市農業集落排水事業特別会計予算
議案第37号	平成21年度 安曇野市水道事業会計予算
議案第44号	公の施設の指定管理者の指定について（碌山公園）
議案第45号	市道の廃止について
議案第46号	市道の認定について
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第23号	平成21年度 安曇野市一般会計予算（建設水道委員会所管事項）
審査内容	(要望) 国の景気対策もあるが、市としても地域経済活性化のために、工事等の前倒し発注を行い、状況によっては補正予算で対応するなど、積極的に進められたい。
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第29号	平成21年度 安曇野市下水道事業特別会計予算
審査内容	(要望) 下水道使用料、受益者負担金とも、前年度末に比較して減少している。これらの滞納額を減らす努力は認められるが、公平性の観点からも今後より一層努力されたい。
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

福祉教育委員会審査報告

2月19日報告分

議案第13号	平成20年度 安曇野市一般会計補正予算（第4号）（福祉教育委員会所管事項）
審査内容	(要望) 中央図書館の図書の購入その他、当委員会の所管する事業においては、この不況下でもあり、緊急経済対策の一環として、なるべく早い予算執行や市内業者への配慮をお願いしたい。
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第18号	平成20年度 安曇野市介護保険特別会計補正予算（第4号）
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

2月27日報告分

議案第39号	有明保育園整備事業建築主体・電気設備工事変更請負契約について
議案第40号	有明分園保育園整備事業建築主体・電気設備工事変更請負契約について
審査内容	(意見) 当初予算に係る請負契約の変更は、資材高騰後の対応に注意されたい。等特殊事情があったという稀なケースではあるが、今
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第48号	安曇野市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例
議案第49号	平成20年度 安曇野市一般会計補正予算（第5号）（福祉教育委員会所管事項）
議案第50号	平成20年度 安曇野市介護保険特別会計補正予算（第5号）
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

3月19日報告分

議案第6号	安曇野市重度心身障害者福祉金に関する条例の一部を改正する条例
議案第7号	安曇野市掘金保育園建設基金条例を廃止する条例
議案第10号	安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例
議案第11号	安曇野市穂高交流学習センター条例
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第12号	安曇野市図書館条例の一部を改正する条例
審査内容	(意見) 中央図書館と分館の館内整理日など休館日を分けたことは、市内のいずれかの図書館が、必ず開館していることになるので、よい対応である。
審査結果	以上のような意見を踏まえ、採決を行った結果、全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第23号	平成21年度 安曇野市一般会計予算（福祉教育委員会所管事項）
審査内容	(反対の意見) ・人権教育を進めていくことは必要と思うが、この中に同和教育を含むことはよくないと思う。 ・豊科交流学習センターの計画は、市民の要望や財政的な市民負担も含めて、十分に反映されるよう予算に盛り込んで欲しい。 ・保育所費の調理業務委託について、本来、子どもたちの食に対する安全は、市が100%責任を負うものであると思う。献立の作成、食育、食材の発注など栄養士が行うというが、委託業者がどれだけ理解してやってもらえるのか。市の体制、財政状況の中で安上がりな行政につながるか。今後も業務委託が広げられることにおいて、食育推進計画を進めていく上で、十分に責任を果たしうるかという点が問題である。 (賛成の意見) ・人権教育ということは、いじめ、虐待、人の心を傷つけることなどその中に、同和教育がごく一部残されているので、それを切り捨てることはできないと考える。 ・保育所費の調理業務委託について、食材の発注については栄養士が担当し、業者に任せないということでは安全は確保できると考えるので、賛成である。 (要望) 100年に1度といわれる不況下であり、経済対策という面からも予算執行を遅滞なく進めて欲しい。
審査結果	一部に、反対の意見があったが、採決を行った結果、賛成多数で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第28号	平成21年度 安曇野市介護保険特別会計予算
審査内容	(反対の意見) 介護保険料が値上げされるという予算で、市民の負担が増加する。今の経済状況への、対応策として保険料の値下げを考えていくべきではないか。また、介護を受けたくても受けられない人をなくすという対応をとっていくことも必要である。国の負担は低く抑えられており、保険料を応能負担に改めるべきで、根本的な制度改正が必要であり、反対である。
審査結果	一部に、反対の意見があったが、採決を行った結果、賛成多数で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。
議案第41号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市ひめこぶしの家）
議案第43号	公の施設の指定管理者の指定について（御宝田水のふるさと公園）
審査結果	全員異議なく、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

市民の暮らしを守る健全財政と緊急対策は

財政悪化を招かないよう慎重に・緊急対策会議を設置



松沢好哲

Q 健全財政のあり方・国保・介護保険負担増と市民生活、不況下での生活保護世帯の増加は、また、地元企業に仕事の前倒し発注を。

A (市長) 大量解雇等に対応し、緊急対策本部を設置した。また、財政健全化を進め、悪化を招かぬよう対処する。

Q (健康福祉部長) 現在、生活保護世帯は248世帯、人員が322人で急速に増えている。

A (企画財政部長) 緊急対策で1月末までに、地元企業発注53億4千万円、新年度予算普通建設費、新年度より6億5千万円の増、また、早期発注したい。

Q 保育園の給食調理部門民営化で、企業は安い賃金で調理、安い食材購入で地産地消の支援が期待されている。

A (健康福祉部長) 介護保険制度は崩壊ではないか。市民の負担、低所得層の負担減をはかり、また、認定の軽度化をすべからず。

Q 介護保険制度は崩壊ではないか。市民の負担、低所得層の負担減をはかり、また、認定の軽度化をすべからず。

A (健康福祉部長) 介護保険制度が始まって以降、家族扶養が崩れている面がある。介護保険料負担では、サービス提供量も増やさなければならず、従って経費増につながり、相応な改定が不可避となったが、保険料区分を9に広げ軽減対策を講じた。

Q 新庁舎建設はまさに争点。学校は旧校舎で耐震、庁舎(60億円)は新築では正しくない。

A (市長) 何もかも一緒の議論は困る。建てないことのほうが将来に負担を残す。

Q 建設ありきのアンケートでは8割以上が総合支所利用だ。また、庁舎構想を知らない人が32.9%、それが実態だ。今、市民一人当たり98万円の借金があり、借金の積みみになる。

A (企画財政部長) 借金の、毎年40億円は、財政計画に含まれる。

Q 全市民にアンケートし、さらに市長・市議選の争点にすべき。

A (市長) 争点にしていただいていたよ。



穂高北小学校建設現場視察

21年度一般会計予算は健全か

景気減速による収入不足が不安



大月晃雄

Q 世界経済は一気に悪化。344億円の予算、法人税収入が3億円減の9億5千万円、23.7%減で収入の見込み違いはないか。法人税を納付できる企業は一部に満たない。と聞いている。当市の企業も人員削減で見通しが立っていない。50%減もあり得る。

A (総務部長) 予算積算時点はまだ良かった。ここへ来て景気の悪化が進み、見通しがつかない。

Q 21年度返済金45億8千万円、新規借入金41億7千万円の合併特例債部分はいくらか。

A (企画財政部長) 約22億円である。

Q 毎年の借金が40億円位、一般借入が特例債の借入に22億円置き換わりうまくいっている。実質公債費比率19年度14.4%、20年度は15.2%に上り、21年度は14%の半ばとなり、20年度がピーク。

Q この比率が維持できれば健全経営。比率を悪化させる下水道への繰入金と、下水道の返済金のピークはいつか。

A (上下水道部長) 平成32年がピーク。返済金27億6千万円、一般会計からの繰出しは25億円となる。

Q (要害) 下水道は20年の長期返済32年に25億円持ち出し、60%の補助率、残り40%10億円は単純に持ち出しする。10億円を特例債の返済に置き換えると、300億円の事業に値する。基金33億円を取り崩しているが、残り24億円の基金を大切に使用してほしい。

Q 土庫費の配分は公平にしているか。

A (都市建設部長) 予算額を一定の率で地域ごとに配分している。

Q 観光行政が全然見えないが、戦略・企画は。集客は何か。

A (産業観光部長) 受け皿として、トロコ風電車を運行、明科駅に特急14本停車させ、シャトルバス14本を運行する。

Q 安曇野市の一体感がなく、市民の一体感がなく盛り上がりがない。明科駅や国道19号にのぼり旗などを取り付け観光ムードが必要。

A (産業観光部長) 観光行政一体となり、前回(25万人)の倍近く集客したい。



国道19号沿いの大遷宮祭歓迎のほり

市がめざす障がい福祉施策は

計画に基づきできる限りの支援をしていく



平林徳子

Q 市がめざす障がい福祉施策についての考え方を伺う。

A (市長) 障害者基本計画および障害者福祉計画を策定し、具体的な施策を進めてきた。できる限りの支援をいかなければと思っている。

Q 4月より手話通訳士を正規職員として採用する人の職務は。

A (健康福祉部長) 手話通訳者・要約筆記者の養成、研修会の講師として、また、聴覚障害者への情報提供やコーディネート業務等前進が見込める分野である。

Q 障がい児・者の通所施設の必要性について、どう考えているか。

A (健康福祉部長) 本当に必要なことだと思ふ。

Q 施設を作りたいとの願いから準備資金づくりを進めてきたNPO法人に市有地を提供できないか、また、補助は。

A (企画財政部長) 市の未利用地の提供は、民法および借地借家法の適用を受けることになる。その土地の処分の際、トラブルの発生が予想されるので購入を促したければと考える。

Q (健康福祉部長) 福祉施設設置のための、土地購入補助は、検討させていたいただきたい。

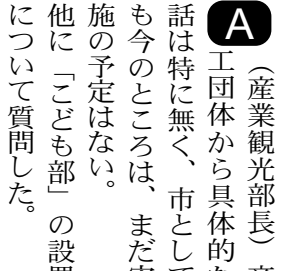
A (健康福祉部長) 福祉施設設置の早期療育システムの確立は緊急の課題であると受けとめ、具体的な施策を考えたい。

Q 乳幼児の時から、きめ細やかな対応が必要だと考えるが、今後の取り組みについては。

A (健康福祉部長) 特に障がい児の早期療育システムの確立は緊急の課題であると受けとめ、具体的な施策を考えたい。

Q 定額給付金は、約15億3千万円である。経済対策の一環として商工会と連携し、プレミアム商品券を考えないか。

A (産業観光部長) 商工団体から具体的な話は特に無く、市としても今のところは、また実施の予定はない。他に「こども部」の設置について質問した。



ふれあいバス

五ヶ用水路の改修について

今後事業の必要性を含め検討していく

Q 五ヶ用水路の上流である、県営かんがい排水事業町川が21年度の竣工にあたり、下流の五ヶ用水路改修について、上流の大町市・池田町、また県とどうい話を進めているか。

A (産業観光部長) 県とは相談し、現地視察を行ったが、大町市・池田町とは協議をしていない状況。

Q 県営球場の誘致が難しいという判断から、市営球場として検討をしていくということですが、どのように検討されているか。

A (教育次長) 平成21年度からの早い時期に、仮称スポーツ施設整備検討委員会を組織し、体育施設全般についての研究に入る。

Q 野球少年に夢と希望を与えるためにも実現を促したい。

A (市長) 全市的視野の中で、スポーツ施設全般に係る調査検討するための予算を盛り上げていただいた。

Q (要害) 合併特例債が使える期限内にぜひ実現をお願いします。

A (市長) 全市的視野の中で、スポーツ施設全般に係る調査検討するための予算を盛り上げていただいた。



五ヶ用水路

Q 旧明科町の時から上流に対して5千9百万円の負担金を支払っているのに、五ヶ用水路計画するには、当然上流にも負担していただく話をしなればいけないと思ふが、その辺はどうか。

A (市長) 全市的視野の中で、スポーツ施設全般に係る調査検討するための予算を盛り上げていただいた。

Q 穂高北小の調査ミス、それに伴い4ヵ月も延びてしまったミス、設計書の内容確認、建物の安曇野力ラーの打合せ等、縦割り組織の中で一貫性がない。資格を持った職員を3部署から4部署に分散させることも不合理である。経験を積んだ建築のスペシャリストを含めた建築施設係を設置してはどうか。

A (市長) 私もその通りだと思ふ。ご指摘の通り、資格を持った者6名がばらばらになっていたので、こういったミスが出てくるのではないかと。これを一つの集団にし、民間の優秀な人を採用し、それを含めた技術集団を持てたらと思っている。

Q 市がめざす障がい福祉施策についての考え方を伺う。

A (市長) 障害者基本計画および障害者福祉計画を策定し、具体的な施策を進めてきた。できる限りの支援をいかなければと思っている。

Q 4月より手話通訳士を正規職員として採用する人の職務は。

A (健康福祉部長) 手話通訳者・要約筆記者の養成、研修会の講師として、また、聴覚障害者への情報提供やコーディネート業務等前進が見込める分野である。

Q 障がい児・者の通所施設の必要性について、どう考えているか。

A (健康福祉部長) 本当に必要なことだと思ふ。

烏川地区ほ場整備事業と都市計画道路公園線は公園線は換地計画では、5m農道として



黒岩宏成

Q 厳しい農業情勢の中、ほ場整備事業は行政の経済的支援は欠かせない。また、道路は地域間連携を支え、産業・観光・医療を始め日常生活に直轄する重要な課題である。ほ場整備事業と計画的な道路行政について伺う。

A (市長) 農業の長期展望に立ち、担い手農家に農地の集積を図り、生産力を上げ、効率のよい農業を目指すことが極めて重要、必要であり、地元負担の少ない事業として取り組む。県は「都市計画道路公園線」を、平成15年に国道147号より西側の道路計画は反対意見があり事業化が難しいため事業中止した。市としても県との状況、考え方など踏まえ現時点での事業化は極めて困難と判断し、断念せざるを得ないと言っている。

Q 農地集積加速化基盤整備事業の特徴と

A (産業観光部長) 最も、ほ場整備事業は行政の経済的支援は欠かせない。また、道路は地域間連携を支え、産業・観光・医療を始め日常生活に直轄する重要な課題である。ほ場整備事業と計画的な道路行政について伺う。

A (産業観光部長) 最も、ほ場整備事業は行政の経済的支援は欠かせない。また、道路は地域間連携を支え、産業・観光・医療を始め日常生活に直轄する重要な課題である。ほ場整備事業と計画的な道路行政について伺う。

Q 事業費用については。

A (産業観光部長) 最も、ほ場整備事業は行政の経済的支援は欠かせない。また、道路は地域間連携を支え、産業・観光・医療を始め日常生活に直轄する重要な課題である。ほ場整備事業と計画的な道路行政について伺う。

Q 山麓線、広域農道との接続は。また、受益者負担の軽減方法として、市道の拡幅・歩道の設置・公園・スポーツ施設等の考えは。

A (産業観光部長) 東西の接続は、都市建設部と調整し研究検討する。施設用地は現時点では計画はない、今後計画の中で研究してみたい。

Q 公園線は将来の道路計画と大型機械等考慮し、市道として中心線のある6m道路にならないか。

A (都市建設部長) 必要な計画は担当部局と相談してみたい。あくセブ道路は、147号バイパスから広域農道への新設道路、山麓線の整備を建設事務所と連携し取り組みたい。



烏川地区園場整備地区

ヒブワクチンに公費補助を

Q 細菌性髄膜炎にながら、インフルエンザ菌のB型HiBワクチンに感染しやすい乳幼児に絞り、安心安全と保護者負担軽減のため、公費補助を。

A (健康福祉部長) 生涯にわたり髄膜炎による障害を残さないためにも必要である。ワクチンの供給体制が整ってから助成制度を考えていく。

国保・介護保険の値上げ 市としてできることがないか 一定の負担をいただくざるを得ない



青柳吉宏

Q 史上最大の景気が続いていると言われてきたが、多くの人は生活実感に違和感をもっている。

A (市長) 国民だれしもが満足に思っていない人は多いのではないかと。国の為政者と国民・地方の感覚の開きが広がっていると思う。地方は努力し改革をしてきた。指導した国会が、政権争いをしていく状況だと、不信は増大する。

Q 私たちは働いて、それを糧に生活している。政治がそれを崩してきた。もう一つは社会保障が削減されてきた。そのことが、多くの人を苦しめていると思う。

A (市長) 大筋としてその通りと思う。

Q 国保の値上げ、介護保険も、国がやらねば全ては解決できないと思うが、この時期に自治体としてできることがあるのではないかと。

A (市長) この時期に値上げは、本当はしたくない。しかし一定の負担をいただくざるを得ない。国に働きかけたり節約して、これに当たっていかねばならない。

Q 値上げは景気が回復するまで、凍結してもらいたい。

A (市長) 本当に困っている人がいる。国保でも、介護保険でも、市が責任をもつて対応してもらいたい。

Q (市民環境部長) 相談したいだけならば対応している。

A (健康福祉部長) 介護認定されていれば受けられるので、相談いただきたい。

Q 住民が自治体に求めているのは、安心して生活できる、その基

本を充実してほしいということだと思つ。事業のあり方を見直す必要がある。切りかえができれば、福祉は切り捨てられていく。福祉自治体としての方向を積み重ねていくことが必要ではないか。

A (企画財政部長) こういう経済情勢は、だれも予測しなかった。これが続くようであれば今の計画を見直さなければいけない。



気軽に相談を (穂高健康支援センター)

国民健康保険の値上げ問題と農政・中小業者の支援は国の基準に基づいて行う



草深 温

Q 農業問題について伺う。WTO協定により食糧自給率も落ち込み、中国ギョーザの薬物中毒事件を始め、汚染米・事故米・農産物の偽装表示等食の安全・安心を揺るがす事件が多く、安全・安心な食を求める声がある。食糧自給率の向上が求められているが。

A (産業観光部長) 認定農業者と集落営農組織には、今後も支援と援助をし、集落営農以外の農業者への支援も行う。役割分担のほかJAが中心となつて地域の農業振興をどうするべきか、農家と議論を重ねて地域ビジョンを打ち出していきたいと思う。

Q 中小業者の経営状態が悪化しており、県内での倒産数も増加して資金繰りは大変。国のセーフティネットは、最近3カ月平均の売り上げ額が前年同期比マイナス3%以上ある中小業者が

応援する制度であり、市の情報提供は。

A (産業観光部長) 国のセーフティネットの認定業種は76業種で約80%の企業がカバーされている。期間は、平成22年3月まで、保証料は市の負担となる。5号認定を受けて申請すれば借り入れがし易くなる。

国民健康保険税について

Q 小泉内閣の三位一体改革により、社会保障費が2,200億円削減され、国保税値上げになつていく。社会不況で経済的弱者が大変な生活を送らされている時に国保税の値上げは問題である。今後の対応は。

A (市民環境部長) 昨年度(2009年度)の医療改正で75歳以上の9,500人が後期高齢者医療制度に移行され、税収が約6億円の減少、医療費が約2億円余り増加し、基金を取

Q 農政・中小業者の支援は国の基準に基づいて行う

A (市長) 国民健康保険の値上げ問題と農政・中小業者の支援は国の基準に基づいて行う。



安曇野赤十字病院

田園都市の「都市づくり」について



藤森康友

Q 田園「都市」づくりについての構想は。

A (市長) 土地利用制度を構築している最中。国の法律による線引き制度は安曇野市には合わない。自主条例による制度の制定を目指す。安曇野市の特徴は田園風景の中に存在する都市「グリーンシティ」である。

Q 各地域の歴史的な文化的な、そして田園都市としての特色を生かし、生活の利便性を結びつけるコンパクトタウンづくりについて。

A (都市建設部長) 土地利用の検討では5地域の均衡ある発展が望まれている。各地域の中心としてきた区域を「地域拠点区域」と位置づけ、ここに利便性の高い住環境を形成することで、新たな居住者も受け入れながら、積極的かつ計画的な集約重視のまちづくり、安曇野市流のコンパクトタウンを目指す。土地利用の基本区域が確定され、開発を促進する区域と抑制する区域を明確にすることが、インフラ整備、投資負担軽減へとつながる。郊外への拡がり、市街地のスプロール化にブレーキをかけ、秩序ある土地利用が大切であり、土地利用を考慮する上で行政運営における費用対効果を効率的なものにすることは重要な要素である。

Q 穂高広域組合最終処分場建設における市の責務と関わりについて。

A (市長) 自前の最終処分場を持つことで、初めて一般廃棄物の処理の責任を全うできる。自分たちの出すごみを他人事にはしない区内処理をぜひとも進め実現させたい。候補地については、絶対だという手引書がない中で、様々な議論があることは承知している。施設の必要性と安全性の理解を住民から得ることが大変重要である。併せて、住民の要望を広く受け入れた施設であることが必要である。先ずは、浸透水等によって地下水や河川等が汚染されないことを前提とした管理型、屋根つきの被覆型の処分場を計画している。



田園都市の都市づくり

Q 土地利便性の高い住環境を形成することで、新たな居住者も受け入れながら、積極的かつ計画的な集約重視のまちづくり、安曇野市流のコンパクトタウンを目指す。土地利用の基本区域が確定され、開発を促進する区域と抑制する区域を明確にすることが、インフラ整備、投資負担軽減へとつながる。郊外への拡がり、市街地のスプロール化にブレーキをかけ、秩序ある土地利用が大切であり、土地利用を考慮する上で行政運営における費用対効果を効率的なものにすることは重要な要素である。

Q 建設候補地について。

A (都市建設部長) 本庁舎の位置と位置の検討は、今後のまちづくりには大きな影響を与えることは確かである。位置の検

穂高駅西區画整理事業への着手は

二月下旬に組合設立・事業着手



浅川保門

Q 事業着工の大幅な遅れは何か。冬場施工から夏場施工へと転換であるが、夏場施工により水稲作付けが不可能となったわけであるが、営農組織等と十分協議がされたか、補償は考えているか。減歩率も当初は22%から24%と聞いていた。現在では平均30%と聞く。今後、事業を進める上でこれ以上の減歩はないのか。さらに事業着工はいつ頃になるのかも伺う。

A (都市建設部長) 遅れた原因として、20年2月頃、事業に参加できない者があり、全体計画の見直しを余儀なくされ、加えて、洪水調整池、或いは道路計画に関する事前協議に不測の日数がかかり大幅に遅れたものである。21年度の水稲作付けができる工法で当初は考えていた。仮換地した中で、これをやる為には減歩率が高まる。それを高めない為にも夏場施



穂高駅西區画整理事業現地

工の結論を出した。地権者の全体会議で承諾をされている。収入減の問題、地権者と営農組合との問題、今後區画整理組合も関係してくる事になるので、関係者で十分協議を頂きたいと思っている。現時点では事業計画の公告、縦覧が行われている。終了後、直ちに許可が見込まれることから、3月下旬に組合が設立され、事業着手ができる。さらに県の認可の見通しが立つことから、今後減歩率の変更はないと考えている。

治水対策について

Q 農地の宅地化が進み大雨、雷雨があれ

ば以前の様に、農地等への浸透が少なく、一気に下流へと流れ下る。旧態依然の排水路では対応できる状態ではなく、田畑への浸水はたびたびである。苦情、要望を上げるところであるが、排水路の延長も長く、支所対応では限界がある。地域排水路状況を精査し、中長期計画を立て対応すべきと考えるがどうか。

A (市長) 基本的に市の排水に対する関わり方は、極めて大きな課題である。用排水路も距離は、道路よりはるかに長く、従来は用水路で済んでいたのが、都市的な発展に伴い排水の役目も負う状況である。各土地改良区の方々のご努力により維持されているが、安曇野市全域で水路の傷みが出ている。今後安曇野市の大きな事業目標として、用排水路の整備は欠かせないと思っている。

トマトの安曇野菜園その後の生産販売状況は

期待に反して今後の成り行きが心配



小林純子

Q 市の三セク・安曇野菜園第6期第1四半期の生産・販売状況は。

A (産業観光部長) カゴメ向けの2品種は既に相当の栽培経験があるにもかかわらず、生産・販売は安定せず、病害の発生などにより計画通りの売上が確保できなかった。独自品種の安曇野菜も、計画値に対し約22%しか生産できなかった。会社のキャッシュフローを見ると、とりあえずは回っている状況かと思う。

Q えようがない。第1四半期の結果を見るに、6期末まで判断を待っている手遅れにならないか。

A (市長) 期待に反して今後の成り行きが心配。今後どんな選択肢があるのか考え、準備する必要がある。長引くことでマイナスが積み重なるようではいけないが、今はまだ決定する時期ではない。

製造の専門家も入れて、経営改善の今後をしつかり点検評価できるようにしていく。



堆肥センターがあっても野積が解消しない(2009年2月)

Q 三郷堆肥センター 公社による経営改善は

A 公社が本気で経営改善に取り組む覚悟があるならば、これまで以上の市の関与が不可欠である。具体的にこれからどういう管理、指導の体制をとっていくのか。

Q 三セク等の情報公開は

A 条例には三セクや指定管理者となつている団体に対して情報公開が適切にされるよう措置を講ずるとあるが、具体的にどう扱うのか。

Q 改善に取組む覚悟があるならば、これまで以上の市の関与が不可欠である。具体的にこれからどういう管理、指導の体制をとっていくのか。

A (産業観光部長) 市の関与が必要であり、指導・助言もしていかなければいけない。改善計画では、会社経営や堆肥

Q これまで「経営を軌道に乗せることで責任をとる」と言い続けて2年が過ぎた。この間どんな努力をしたのか。また、成果は上がったか。

A (副市長) 安曇野菜園が思った通りにはなかった。努力はしているが、その結果がまだ出ておらず大変残念である。責任逃れでないかと言われれば、何とも答

Q 三セク等の情報公開は

A (総務部長) 情報公開請求に対しては、市が責任を持って行う。請求者が直接に三セク等へ出向く必要はない。また、三セク等が保有する文書でも、本来公の施設の管理責任は行政にあるので、市が受けて管理すべき公文書もある。

スポーツ振興に施設の充実も

施設検討組織を設置し進めていく



高山一栄

Q 安曇野市のスポーツ振興について、施設面も含めて、市長の考えと、スポーツに対する思いを伺う。

A (市長) 市民の誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくり、スポーツを通して、コミュニケーション、仲間づくり、そして心身の健康増進、技術力の向上等を目指すことが基本理念と思う。青少年のスポーツ参加機会と心身の育成は、行政としてソフト・ハード両面を充実させて行かなくては、と考えている。教育委員会において検討組織を設置し、検討することになっている。必要な施設整備の具体的な基本計画を作っていくなければならぬと思っている。



スポーツ大会

Q 特別支援教育制度について

A (教育長) 特別支援教育は、障害のある児童・生徒、来年から幼児も含め、文科省では考えている。自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援、生徒一人ひとりの教育ニーズを把握して持てる力を高め、学習上の困難を改善克服するために適切な指導をし、必要な支援を行う。各学校に特別支援コーディネーターを置き、先生を中心に、学校内で委員会を設置、実態の把握、関係機関との連携、個別的教育支援計画を立てて、活用している。

Q 合併3年を経過しているにもかかわらず、水道基本料金が統一されていない。市民は等しく公平を保つことが前提と考えるが、行政指導で早急な対応を取るべきと思う。

A (上下水道部長) 事業認可の統一と料金均一は、合併における調整項目として、統一時期をいつにするか、早く決定したいと考えている。水道運営審議会とも検討しながら、来年度中には将来の予測、基準を示すことができると思う。

市水道ビジョンの課題は何か

事業統一と三郷地域の水源転換である



丸山祐之

Q 市水道ビジョンを策定中であるが、現在直面している課題の基本的なものは何か。

A (市長) 事業統一と安定供給のため水源確保が求められている。市全体において、一部これが確保されていない。三郷地域の水源確保については、黒沢川ダム建設計画を受け、安定取水の準備を進めたが、「脱ダム宣言」により中断した。その後全く進展がないため根底からの見直しが必要とされた。三郷水道事業は黒沢川以外に水道水源となる河川はない。しかし、水道水としての水利権がないため、地元との協定に基づき、農業用水の一部を水道水として利用している。水利権の問題は極めて複雑であるが、現在の取水状態に対し、国土交通省からは大変疑問符が示されている。また、表流水を水道水として使うには、浄水

設備が必要であるが、法改正により基準が大変厳しくなっているし、維持管理費も莫大になる。市としては黒沢川ダムからの取水は断念せざるを得ないだろう。他の4地域は全て地下水であるし、統一した管理運用や建設費用の節約ができることから、全量地下水に依存する方針とした。



三郷水道黒沢取水源

Q 地下水に水源を求めるとのことであるが、この点他部門の対応はどうか。

A (産業観光部長) 伏流水の水位の変化がかなりワサビの栽培などに影響すると言われている。安曇野の地下水は非常に大切な資源であり、

Q 決して無限のものではない。一方、水道は人間が生きていくために必要であるから、連携を取りながら取り組んでいかなければいけない。地下水・堰・川は安曇野ブランドとして重要な位置づけとなる。市民環境部とも連携をとる中で、地下水の水位、きれいな水の保全について進めていく。

A (市民環境部長) 地下水の涵養は、ある会社で実験的にやっている。環境の行動計画などで進めていきたい。

A (都市建設部長) 治水に限定するならば、洪水調節機能が保持されるならダムの設置にはこだわらない。県の現在考えている調整池プラス河川改修の早期事業化を今後も要請していきたい。他に、経営基盤の強化、経営健全化計画および財源の確保について質問した。

平成21年度当初予算編成上の留意点と執行上の留意点

残された任期を全力で努めたい



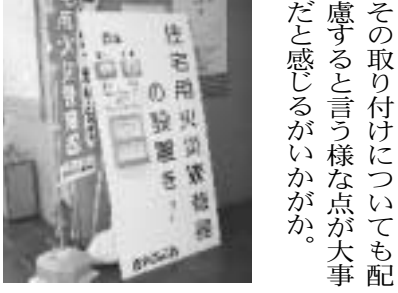
浜 昭次

金融破綻による経済不況は、これほど酷くなるとは予測できなかったにしても、各部署の担当者レベルにおいて平成21年度予算の概算要求の始まる頃に符合する様に、景気の悪化が叫ばれていた訳で、経営感覚として、例えば出先の判断に任ざられていた、幾多に亘る随意契約等は、一本芯の通った見方の中で積み上げられないか。

また、生活弱者に対する緊急対策支援の重要性は理解するが、例えば火災警報器設置補助について予算計上するだけでは、老人世帯に対しては、その取り付けについても配慮すると言った様な点が大事だと感じるがいかがか。

（企画財政部長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（教育次長）把握する一つの方法として、一定の基準額の中で生活保護に準じた就学支援費制度があるが、今後も引き続き個人情報に留意しつつ、必要に応じて学校側を通じ、実際の状況把握に努めていく。



6月より取り付け義務がスタート

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（企画財政部長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

産業支援・振興策について

最大限の行政施策を展開する



宮澤孝治

（産業観光部長）①現段階における融資実行率は38%であり、現状、融資枠は確保できていると考える。

（市長）地域の雇用と暮らしを支え、経済の土台を担っているのが中小企業であると考えている。行政として、できる範囲で産業の再生を図っていくため、金融支援措置として信用保証料補助や利子補給など、また、国や県の制度も活用しながら、できるだけ行政施策を実施していきたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。



あづみ野産業団地

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

合併の評価・検証・分析について

各種計画に基づき実施している



吉田満男

（都市建設部長）与えられた5年間のうち3年が経過する中で、条例により制度を構築するという市の方針が進められることができ、おおよそ予定通り進んでいる。

（企画財政部長）景気減退など財政運営に大きな影響がでるものと予想している。21年度については、国保料金の値上げを予定している。今回、値上げ率を抑えるために一般会計から暫定的に臨時的補填を行う予算を提案している。

（総務部長）このような経済情勢や財政状況が厳しいときこそ、これまで以上に行政の効率化を図り、今後の地方分権に対応できるように行政を進めていく。先送りすることなく進めて行

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。



完成した有明あおぞら保育園

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

（市長）今回の予算編成に当たって緊急経済対策が充分盛り込まれたかと言われれば、なかなか難しい問題だ。県下19市の21年度当初予算と比較しても、経済状況を勘案しながら堅実に組んであると考える。任期後もどうするかと言う点も含め、残された任期を全力で努めたい。

交通権を位置づけた公共交通体系づくりを

具体的にできるものから取り組みたい

Q 交通権は人間の夢と喜びを可能にする。

A (市長) 交通弱者のためにあづみんの運行を始めた。試行錯誤するなかでよりよい方向に持っていきたい。

Q (企画財政部長) モビリティの格差が公共交通の衰退で大きな問題。交通政策が重要な役割を果たすべきと考える。

Q 市内循環の定時定路線の組み合わせで官公庁、病院、商店街などを結ぶ体系づくりを考えてみる。

Q 市内循環の定時定路線の組み合わせで官公庁、病院、商店街などを結ぶ体系づくりを考えてみる。

Q 市内循環の定時定路線の組み合わせで官公庁、病院、商店街などを結ぶ体系づくりを考えてみる。

Q いい方式を検討していきたい。

Q 環境・雇用・地域経済の観点での公共交通とは

Q 市内には8万台の車両がある。脱クルマ社会の構築が大切。バイオディーゼル燃料の活用を検討したらどうか。

Q (市民環境部長) 自然エネルギー、バイオエネルギーを活用した交通手段の検討をしている。現状では安定的供給が既存のディーゼルエンジンが故障する可能性があるなど、課題がある。

Q 高齢者ドライバーの免許返納がすすんでいる。交通事故死の比率が高い高齢者に、やさしい交通体系が求められていると思うがどうか。

Q (企画財政部長) 昨年度では73人が返納。交通事故防止の面でも有効であり、さらに促進できるよう警察、運輸業者と連携して対応したい。



下里喜代一

Q 事業所、官公庁の通勤に公共交通を利用できるようにすることで、幅広い雇用を確保できるのではないかと。

Q (産業観光部長) 利用者数、採算ベース、利用者の希望時間、ニーズの把握、コースの設定、停留所の確保など膨大な調査が必要である。

Q ポイントカード、割引制度などで公共交通の利用促進をはかり、まちのにぎわいを戻すことが大切では。

Q (産業観光部長) ポイントカードの制度が充実すれば可能だ。安曇野ブランド推進室でも商店街の活性化プロジェクトの活動をしている。



あづみん定時定路線(穂高⇄明科)

Q アメリカの金融危機から始まった世界の同時不況により、日本全体、安曇野市内の製造会社も同様であり、商工会で行った本年2月のアンケート調査の結果、経営、業績悪化企業が79.8%、特に50%以上落ち込んでいる企業が15%近くある。商業、飲食、観光等、あらゆる事業者にも大変な影響が現れている。市の中小企業融資制度の条件として、保証人・担保は原則不要とあるが、この対応は。

Q (産業観光部長) 個人事業主の申し込みの場合は、保証人・担保は不要である。法人については代表者の保証人が必要である。

Q 条件として、直近3カ月の経営状況の内容とある。業績悪化となつてからの経営状況と先が見えない経済状況とで、これら条件が金融機関の貸し渋り、保証協会

Q 市営住宅に対する整備・充実の要望や一定の需要は常にあり、住宅困窮者に低額の家賃での住宅を提供する役割を、市は果たしていかねばならない。今後の市営住宅への施策について。

Q (市長) 市営住宅は老朽化が進み、将来に向けて集約・整備していく必要がある。ストックの総合活用計画を作った。一定の公共住宅の整備は、市にとって欠かせないことであり、今後、ストックの有効活用する方向で整備をしたい。

Q 市営住宅ストック総合活用計画と今後の取り組みは。

Q (都市建設部長) 21年度から10年計画で約5年ごとに直直しを行う。立地条件や需要見込みにより、建て替え予定は3団地、用途廃止予定は6団地を計画。個別改修、リフォーム・水洗化等の予定は、高い需要と

市の制度資金活用条件について

金融機関等、関係機関と検討する

Q は余り返事しない状況がある。これから、市・金融機関・保証協会・商工会経営指導員四者の運用条件等の懇談会を開いて、できる限りの、心ある魂を入れた制度にしていただきたいがどうか。

Q (産業観光部長) 市の施行規則に基づいて行っている制度であり、決める中でしかできないが、その中で運用について、四者との懇談等を持ち検討したい。

Q 零細企業者、一人商売、一定年齢の過ぎた高齢者に対する現在の融資制度では大きすぎると。小口の融資制度は、市民の大切な税金による制度資金であるので、不良債権にならないよう、保証人、担保、どちらかの条件を付けた制度資金新設を考えられないか。

Q (市長) 市の融資制度については、各金融機関、信用保証協会のご協力、ご理解によって

Q 現在、豊科・明科地域はバスが運行されていないが、どのような対応をするのか。

Q (市長) あづみんの運行とで今後研究したい。



商工会相談窓口



小林紀之

できています。それぞれの立場で責任を持っているので、なかなか、すんなりといかないと聞いています。これらについて早急に連携を深める中で、何か良い手法があるか、検討をさせたい。

福祉バス運行について

Q 現在、豊科・明科地域はバスが運行されていないが、どのような対応をするのか。

Q (市長) あづみんの運行とで今後研究したい。

市営住宅整備へ今後の取り組みは

10年計画で建て替えや改修など実施

Q 市営住宅に対する整備・充実の要望や一定の需要は常にあり、住宅困窮者に低額の家賃での住宅を提供する役割を、市は果たしていかねばならない。今後の市営住宅への施策について。

Q (市長) 市営住宅は老朽化が進み、将来に向けて集約・整備していく必要がある。ストックの総合活用計画を作った。一定の公共住宅の整備は、市にとって欠かせないことであり、今後、ストックの有効活用する方向で整備をしたい。

Q 市営住宅ストック総合活用計画と今後の取り組みは。

Q (都市建設部長) 21年度から10年計画で約5年ごとに直直しを行う。立地条件や需要見込みにより、建て替え予定は3団地、用途廃止予定は6団地を計画。個別改修、リフォーム・水洗化等の予定は、高い需要と

Q 市営住宅ストック総合活用計画と今後の取り組みは。

Q (都市建設部長) 21年度から10年計画で約5年ごとに直直しを行う。立地条件や需要見込みにより、建て替え予定は3団地、用途廃止予定は6団地を計画。個別改修、リフォーム・水洗化等の予定は、高い需要と



松森幸一



市営アルプス団地

Q 国の2次補正予算で財政措置された、①定額給付金、②子育て応援特別手当、③ふるさと雇用再生交付金、④緊急雇用創出事業交付金、⑤安心こども基金、⑥妊婦健診特別交付金について、市の取り組みは。

Q (総務部長) ①正確かつ迅速に給付するための支給準備している。

Q (健康福祉部長) ②近く申請書を送付し、4月に振り込み開始予定。⑥21年度から妊婦健診公費負担を5回から14回に拡充して実施する。

Q (産業観光部長) ③④関係各部・課と連携し事業の創設に取り組む。

合併による行政改革効果は早期本庁舎建設から

21年度の早い時期に基本構想素案を作成

Q ①本庁舎建設に向けた「本庁舎等建設基本構想策定」が予算化された。今後の計画は。②先の市民アンケートは新庁舎建設の計画があるかを知らなかった人32.9%、この結果をどう思うか。

Q ③合併協議会時の協議、「新市の事務所の位置について」の協議結果内容の尊重について。④市は用地参考として、地理的中心・人口重心地を発表したが、発表の意図について。⑤都市計画策定委員会で見出した「拠点づくりの方向性」には、官公庁や商業等のサービス機能の集積を「豊科」としている。庁舎建設地と土地利用計画との整合性について。

Q (総務部長) ①今年度の早い時期に審議会の答申を検討し基本構想の素案を作成し議会や市民に意見を求め、その後、建設基本計画、基本設計等々と順次進める。

Q ②市のホームページや広報あづみんでお知らせしてきたが、この結果は反省すべき点である。広報全体に重要な課題を示してくれたと認識している。③新庁舎の位置については住民の利便性、交通事情およびその他、官公署等の関係等を考慮し、新市において検討するとなっている。この協定書を尊重していく。④一つの参考資料として提示したもので、地理的中心や人口重心だけの資料を進めるものではないので理解いただきたい。⑤土地利用計画との調整、整合性は考慮していく。

Q ①市への交付金額は約15.3億円である。経済活性化に活用すべきと思うが、方策を考えているか。②スピーディーな行政執行体制づくりは、③給付金を寄付に考えていないか。

Q (市長) 経済活性化と言うより生活支援の色合いが濃くなっていると感じている。できるだけ早く的確に届けることが市の責務とされている。プレミアム商品券については、主体の事業者がやる気があれば支援する。寄付については「安曇野ふるさと寄付」に振り込んでもらい、有効に使わせていただきたい。他に、児童館建設は、教育と福祉行政の連携で一般廃棄物最終処分場は跡地利用等を総合的に考え関係者に好かれる施設設置をと、提案を含め質問した。



分庁方式の解消が待たれる庁舎

Q 市営住宅に対する整備・充実の要望や一定の需要は常にあり、住宅困窮者に低額の家賃での住宅を提供する役割を、市は果たしていかねばならない。今後の市営住宅への施策について。

Q 市営住宅ストック総合活用計画と今後の取り組みは。

Q (都市建設部長) 21年度から10年計画で約5年ごとに直直しを行う。立地条件や需要見込みにより、建て替え予定は3団地、用途廃止予定は6団地を計画。個別改修、リフォーム・水洗化等の予定は、高い需要と

Q (産業観光部長) ③④関係各部・課と連携し事業の創設に取り組む。



市民の声



「3月議会を傍聴して」

藤原 浩 さん（穂高地域）

年4回ある定例議会の中でも3月定例会は、当年度最終補正予算と新年度予算を審議する大事な議会です。安曇野市は発足当時から議会運営委員会や、議会全員協議会など、他の自治体では非公開とされている会議が公開され誰でも委員の活発な発言や、本会議の運営に関する話を聞くことができます。得てして一般質問にのみ関心が寄せられるところですが、私たち市民はもっと議会全体に関心を寄せるべきではないでしょうか。

さて、今議会でも多方面から市政の諸問題を取り上げ、行政側と活発な議論がなされたことは、ケーブルTV等でみられた方も多いと思います、特に今議会は傍聴者がいつもより気持ち多いように思えました。傍聴者が増えるのは良いことだと思います。

今後会議の開催が平日の日中という限られた機会の中ではなく、休日や夜間の開催等検討する余地があると思われるし、子供連れで傍聴に来た母親へのサービスとして堀金庁舎の2階の空いているスペースで臨時的託児所を設けるなど、市民の目線に立つてもっと工夫をする必要があると思います。

議会行政視察受入れ報告

「議会だより第13号」報告後、以下の議会行政視察を受け入れました。

それぞれの所管において対応しました。

- * 1月28日（水） 栃木県 鹿沼市議会
栃木県 宇都宮市議会
茨城県 牛久市議会
・いずれも新公共交通システムについて
- * 2月18日（水） 松本市議会
・新公共交通システムについて
- * 3月25日（水） 兵庫県 姫路市議会
・新公共交通システムについて
- * 3月26日（木） 宮城県石巻市議会
・安曇野ブランドについて
- * 4月22日（水） 愛知県豊橋市議会
・新公共交通システムについて

議会事務局人事

*4月1日付異動

新：事務局長 平林今朝雄
産業観光部農政課より
旧：事務局長 橋渡 久雄
総務部へ

平成21年安曇野市議会 6月定例会会期日程（予定）

6月4日（木）～6月23日（火）頃を予定。
皆様の傍聴をお待ちしています。

編集後記

今年は何年より一週間位早い桜の開花となりました。合併してから早くも三年半が経ち、安曇野市においても財政状況が厳しい中にありますが、21年度予算を決定する三月定例会が終了いたしました。昨年来、百年に一度の不況といわれる未曾有の危機が世界を襲っており、これからどうなるのか、暮らしては大丈夫かと、多くの人が不安に感じているのではないのでしょうか。しかし、危機や困難を好機ととらえて乗り越える知恵や才覚も人にはあるはず。一日も早い景気回復を望むものです。さて、都会に住む若者が一番

移り住んでみたい場所は当市の様です。それだけ大切な場所だけに、市民それぞれが景観、環境、風土づくりに心がけたい。
(吉田 満男)

議会広報特別委員会

委員長 黒岩 宏成
副委員長 松森 幸一
委員 下里喜代一
宮澤 孝治
丸山 祐之
吉田 満男
浜 昭次
小林 紀之
高山 喬樹
松尾 宏

お気軽にご意見をお聞かせください。



市の花：わさび